

今年度テーマ「西日本豪雨による土砂災害・河川浸水のレビューと都市計画的課題の整理」

今回テーマ

# 『河川浸水から市街地を守るために』

**【講演1】**：平成30年7月の西日本豪雨では、広島県内で48時間雨量400mmを超える記録的な長時間大雨が発生し、多数の河川で氾濫被害が発生した。このうち、広島市内に流れ込む太田川水系および瀬野川水系では、越水による氾濫被害が発生しただけでなく、支川においては斜面崩壊や河岸侵食などによる土砂洪水流が多数発生した。とりわけ、太田川水系の支川で発生した土砂洪水流による被害は甚大であり、その要因（降雨状況や支川からの越水、破堤氾濫等）や市街地部での浸水被害などについてご講演いただく。

**【講演2】**：西日本豪雨では広島県の南部から東部にかけての広範囲において、記録的な豪雨に見舞われた。これにより広島県内の多くの河川、とりわけ中小河川において、多くの災害が発生した。広島県の基準水位設定の61河川のうち、氾濫危険水位を超過した河川は46河川、避難判断水位を超過した河川が6河川に上り、避難判断水位以下の河川はわずか9河川のみであった。特に、河道の流下能力を大幅に超え、越水、支川破堤、河岸侵食などにより大きな被害をもたらした沼田川水系に着目し、洪水被害の実態と特徴、ダムの影響、およびこれからの課題についてご講演いただく。

# 2019.2.2 (土) 13:30 ▶ 17:00

場所：広島大学東千田未来創生センター M303 講義室  
〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89

定員 100名程度  
参加無料

## プログラム

開会挨拶 13:30

講演 1 13:35~14:35

西日本豪雨における降雨と広島県内の浸水被害/太田川水系および瀬野川水系  
講演者：田中 健路 氏（広島工業大学 環境学部 准教授）

意見交換 14:35~15:05

休憩 15:05~15:20

講演 2 15:20~16:20

西日本豪雨による広島県内の洪水被害/沼田川水系

講演者：内田 龍彦 氏（広島大学大学院 工学研究科 准教授）

意見交換 16:20~16:50

閉会 17:00

参加申込先：企画・研究委員会 担当 高田 禮榮（中電技術コンサルタント内）

E-mail : takata@cecnet.co.jp TEL : (082)256-3362

※参加をご希望の方は、1月30日(水)までに、ご氏名、ご所属を上記メールアドレスまでご連絡ください。

※一般の方のご参加、当日のご参加（定員内であれば）も可能です。